

■吉田富三 病理学者。佐々木隆興の弟子となり、人工癌発生と吉田肉腫発見で、戦前戦後の二度恩賜賞。

よしだとみぞう

日比谷公園・1903＝ 福島県石川郡浅川村で生まれる。

日露戦争終・1905＝ 2歳：

明治天皇没・1912＝ 9歳：

原敬首相暗殺1921＝18歳：

関東大震災・1923＝20歳： 東京帝国大学医学部医学科に入学。

金融恐慌・・1927＝24歳： 卒業して、同大学医学部病理学教室副手となる。

世界恐慌・・1929＝26歳： 佐々木研究所に入所。佐々木隆興とともにネズミを利用した発癌実験に従事し、

海軍軍縮条約1930＝27歳：

満州事変・・1931＝28歳：

五一五事件・1932＝29歳： *アゾ化合物の経口投与による人工肝がんの生成に成功、

芥川直木賞始1935＝32歳： 佐々木研究所を退所して、ドイツに留学。発癌実験成功に対し、癌学会山極賞・服部報公会賞受賞。

二二六事件・1936＝33歳： さらに、第1回恩賜賞を受賞。ブリュッセルでの第2回国際会議に出席。

日中戦争始・1937＝34歳：

健保+総動員 1938＝35歳： 長崎医科大学の病理学教授に就任。

第二次大戦始1939＝36歳：

日米開戦・・1941＝38歳：

創価学会検挙1943＝40歳： *移植しても発癌性を維持し、実験癌として研究に利用できるラットの腹水癌"吉田肉腫"を発見し、

年金+総武装 1944＝41歳： 東北帝国大学教授(病理学)。

敗戦・・・・1945＝42歳：

極東裁判決・1948＝45歳：

朝鮮戦争始・1950＝47歳：

独立回復・・1951＝48歳： 第2期日本学術会議会員。 吉田肉腫"が天覧を賜る。

メーデー事件・ 1952＝49歳： 朝日賞受賞。東京大学教授(病理学)。がん化学療法薬ナイトロミンを開発。

TV放送始・・1953＝50歳： *「吉田肉腫の病理学的研究」で2回目の恩賜賞を受賞。財団法人佐々木研究所所長。

なべ底不況・1957＝54歳：

インフレーション・1958＝55歳： 東京大学医学部長・東京大学伝染病研究所教授を併任。鉄門会頭。

美智子妃・・1959＝56歳： 科学技術会議専門委員。 文化勲章受章。

安保闘争・・1960＝57歳： 日本学術会議会員。

タイタイ病始・1961＝58歳： 第50回日本病理学会会長。 イタリアのペルジア大学より名誉学位を授与。日本医学協会を組織して医療問題について発言し、また国語審議会委員として国語問題にも提案を行う。吉田肉腫移植1000代記念講演会(長崎大学)。第1回日米科学協力委員会(東京)。

全国総合計画1962＝59歳： 第9回国際癌会議組織委員会委員長として、東京に国際癌学会議を招聘する。

TV宇宙中継始1963＝60歳： 財団法人癌研究会研究所長。日本学術会議会員(第6期)副会長。国語審議会委員。

東京オリンピック 1964＝61歳：

大学紛争始・1965＝62歳： 故郷の福島県石川郡浅川町より名誉町民の称号を授与される。

いざなぎ景気1966＝63歳：

霞ヶ関ビル・1968＝65歳： 日本ユネスコ国内委員会副会長。

大阪万博・・1970＝67歳：

ドルショック・・1971＝68歳： 第18回日本医学会総会で特別講演。

石油ショック1973＝70歳： 没した。勲一等旭日大綬を授与される。